

⑧小中学生の農林漁業体験学習等の拡大

小学生のもちつき体験で子供たちが笑顔

青年農業者で組織する4Hクラブは、尾張地域に6組織あり、地域貢献活動として市町が行うイベントへ参加したり、消費者や子供たちの農業体験を実施しています。

その1組織である尾張4Hクラブ連絡協議会が、一宮市の大志小学校を対象に「もちつき大会」を開催しました。

当日は、初めにクラブ員が日本の古くからの食べ物であるもちのことを学んでもらおうと「もちつき文化と歴史」の説明を行い、次に実技を交えてもちのつき方を説明しました。

その後、児童たちは慣れない手つきで杵を使ってもちつきをしました。「もちのことがよく分かった」、「とても楽しかった」と評判も上々でした。

4Hクラブ員も初めての取組で、道具の準備から衛生管理まで試行錯誤しながらの実施でしたが、子供達の笑顔に満足な様子でした。



もちつき体験

地下ダムってなんだろう？

春日井市神屋町には、市の都市景観形成建築物にも指定されている「神屋地下堰堤（かぎやちかえんてい）」があり、全国的にも珍しい環境に配慮した地下ダム（堰堤）です。

この地下堰堤は、昭和10年、周辺の農地に水を引くために、長さ約360m、深さ約9mの堰堤が地下に設けられたものです。

当時の一面桑畑だった農地を水田にするためには水が必要でしたが、地下水しかあてにできなかったため、地下に粘性土の堰堤を設けることによって、地下水を集め、その水を水田に利用しました。

神屋（かみや）小学校では、この地下堰堤を教材として活用することにより、児童に身近な地域の学習に関心を持ってもらい、昔の人たちの工夫や努力について学習活動を行っています。

そのお手伝いとして、県から神屋小学校へ出前授業を行いました。



愛知県職員による出前授業

⑨ 「いいともあいち運動」の推進等による地域の農林水産業や食育に対する理解促進

もっと愛知県産品を食べよう

愛知県では、農林水産業が果たしている役割を県民の方々に理解してもらい、積極的に応援していただきたいと考え、平成10年度から「いいともあいち運動」に取り組んでいます。

県産農林水産物の販売や利用に力を入れている「いいともあいち推進店」の登録やシンボルマークを商品パッケージ等に表示する取組を積極的に進めています。*いいともあいち推進店 364店舗（平成25年3月31日現在）（24年度に13店舗の増加）

シンボルマークを

目印として、愛知県の農林水産物をどんどん食べましょう！



県産農産物のお買い物風景



いいともあいち推進店



プチヴェールの特産化へ向けて栄の百貨店でPR

プチヴェールは芽キャベツとケールを交配して作られた野菜です。JAあいち尾東はこの「非結球芽キャベツ」の特産化に取り組んでおり、49名の部会員が約1万株を栽培しています。消費者にもっと知ってもらうため、平成25年1月に名古屋市中区栄の百貨店屋上でイベントを行いました。

当日は女性部会員らがプチヴェールを食材にした豚汁や天ぷら、粉末を混ぜ込んだクッキーなどを試食品として提供、鉢植えの収穫体験も行われました。

会場で行ったアンケートでは、約半数がプチヴェールを知っていると回答があり、試食品については、いずれもおいしいという回答が8割以上にのびました。工夫しだいで色々な料理に使えるので、今後ぜひ購入したいという意見も多数ありました。



プチヴェールの収穫体験

⑩ 産地直売所等における生産者と消費者の交流活動の充実

豊富な新鮮野菜と体験教室・イベントが人気の直売所



あぐりん村

管内には、農村交流ガイドのホーム・ページに載せている農産物直売所は 40 箇所以上ありますが、施設の規模や運営方法など、その形態は様々です。

平成 19 年 4 月にオープンした長久手市の“田園バレー交流施設「あぐりん村」”は、地元産の安心・安全・新鮮な野菜を販売する直売所だけでなく、「農」に関する地域情報の発信や、各種体験教室・講座、イベントの開催等に積極的に取り組んでいます。

○あぐりん村の平成 24 年度利用状況（平成 25 年 3 月末）

区 分	年間利用人員	売上金額	定休日
直売所（野菜・加工品売場、パン工房 おやつ工房、花・はな市場）	44 万人	6 億 4 千万円	第 1 月曜日 (年末年始除く)
地域食材供給施設(レストラン「凜」)	2 万人		



親子でパン作り教室

子どもから大人まで楽しめるプログラムとして、料理やお菓子教室、寄せ植え体験、パン作り教室、食育講座等が年間 100 回以上開催（890 人利用）されています。毎回趣向をこらした企画となっており、リピーターや市外からの利用者も増え、好評を得ています。

また、土日祝日を中心に、出荷者組織「市・ござらっせの会」が主催者となり、収穫祭やもちつき大会などのイベントが行われ、生産者と消費者のふれ合いの場となっています。

この他あぐりん村では、地元でとれた旬の食材を使った郷土食を提供するレストランや地産地消をコンセプトにしたパン工房などもあり、農を通して誰もが楽しく交流できる場を提供しています。



「市・ござらっせの会」の収穫祭